

フジワンパック

[イソプロチオラン粉粒剤]

農林水産省登録 第23110号

有効成分 イソプロチオラン…36.0%

性状 類白色細粒、微粒、粗粉及び微粉、水溶性パック入り、1パック75g

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
（75g×10）×10 RACコード：殺菌[6]

危険物：- 有効年限：3年 包装：

特長

- フジワンを含む粉末を水溶性フィルムに包んだ自己拡散型パック剤である。
- 小包装（パック）を水田に投げ込むだけで処理でき省力的である。
- フジワンはいもち病に安定した効果を示すとともに、稲こうじ病を同時防除できる。登熟歩合向上と高温登熟下における白未熟粒の発生軽減効果もあり、高品質米生産に貢献する。

効果、薬害等に関する注意事項

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきる。
- 小包装（パック）に使用しているフィルムは水溶性のため、ぬれた手や汗ばんだ手で作業したり、降雨等で破袋しないように注意する。
- 本剤は水溶性フィルムで小包装した製剤をそのまま、10アール当り10～15個の割合で水田に均一に投げ入れる。
- 本剤は湛水状態（水深3～5cm）で投げ込み散布し、散布後少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。なお、極端な漏水田での使用はさける。
- 藻や浮草、雑草が繁茂している水田では拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるので使用をさける。
- 本剤は予防的に散布した場合に有効であり、葉いもち防除の使用適期は初発の7～10日前である。発生予察情報に注意して時期を失しないように早目に散布する。穂いもち防除の使用適期は出穂20日前（葉いもちの発病程度、気象条件などにより出穂10～30日前）である。なお、本剤の使用適期は稲の品種あるいは地域により前後することがあり、また、多発時の散布は効果が劣る場合があるので、使用に当っては使用時期を誤らないように病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 稲の登熟歩合向上を目的として使用する場合は、低温等生育不良条件下及び高温登熟条件下で効果的であるので、これらの条件下で使用することが望ましい。
- 稲の高温登熟下における白未熟粒の発生軽減を目的として使用する場合は、高温登熟条件下で効果的であるので、この条件下で使用する。

安全使用上の注意事項

- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、通常的使用方法ではその該当がない。ただし、濡れた手で触らない。
- 水溶性フィルムが破袋した場合は以下の点に注意する。眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	小包装（パック）10～15個 （750～1125g）/10a	葉いもちに対しては 初発7～10日前 穂いもちに対しては 出穂10～30日前 但し、収穫14日前まで	2回以内	水田に小包装（パック）のまま投げ入れる。	3回以内（移植前は1回以内、本田では2回以内）
	稲こうじ病	小包装（パック）15個 （1125g）/10a	出穂10～30日前 但し、収穫14日前まで			

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	登熟歩合向上	小包装（パック）15個 （1125g）/10a	出穂10～20日前 但し、収穫14日前まで	2回以内	水田に小包装（パック）のまま投げ入れる。	3回以内（移植前は1回以内、本田では2回以内）
	高温登熟下における 白未熟粒の発生軽減					

製品写真



最新の登録内容はこちら

